

令和4年10月2日掲載

熊本日日新聞 読者の広場 「若者コーナー」

3年 西田 結衣 (にしだ ゆい) さん

タイトル：「吹奏楽部で学んだこと」

私が所属する稜南中吹奏楽部で、9月17日に定期演奏会が開かれました。この演奏会は3年生にとっては最後の演奏の場であり、コロナ禍での開催にもかかわらず当日多くの保護者の皆さんにご来場いただいたことを心からうれしく思いました。第一部ではコンクールで演奏したクラシカルな曲を、第二部では歌や踊りを加えたジブリメドレーなどの親しみやすい曲を演奏したのですが、会場の皆さんが拍手や手拍子で応援してくださり、演奏している私たち自身にとっても、大いに楽しい時間を過ごすことができました。

今、最後の演奏会を終えて、三年間の部活動での思い出が走馬灯のようによみがえってきます。入部して最初に感銘を受けた先輩方の挨拶や礼儀の素晴らしさ、コロナ禍で思い切り練習することができなかった悔しさや無観客のコンクールで演奏したこと、3年生になって部長を務めたことなどです。特に部長として皆の心を一つにまとめることがいかに難しいかを学ぶことができました。時おり練習で意見がくい違ったり、的確な指示が出せなかったときには、心が沈み込んでとても苦しかったです。それでも仲間に支えられながら、最後のコンクールに臨み、悔いのない演奏を経験できました。

私は3年間の部活動を通して、楽器の技術の上達とともに、人間的に大きく成長できたと思います。卒業しても吹奏楽部で過ごした3年間の思い出を大切にしていきます。